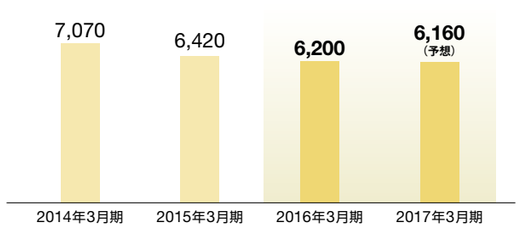
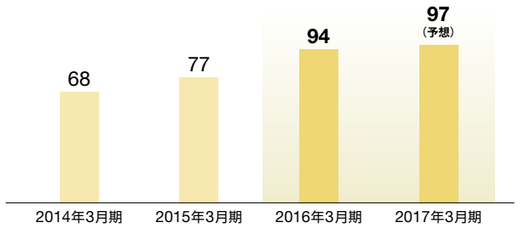
連結業績ハイライト／経営概況
Financial Highlight / Corporate Outlook

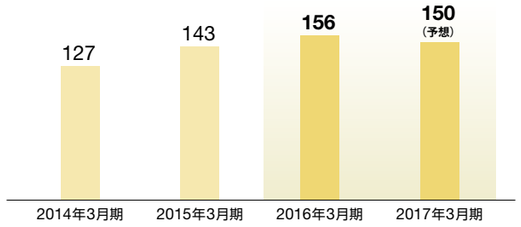
売上高（億円）



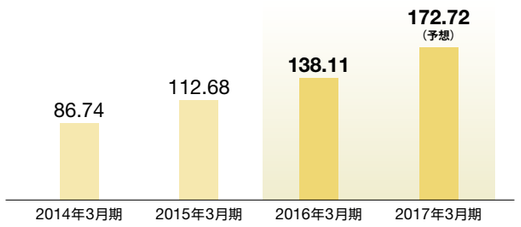
親会社株主に帰属する当期純利益（億円）



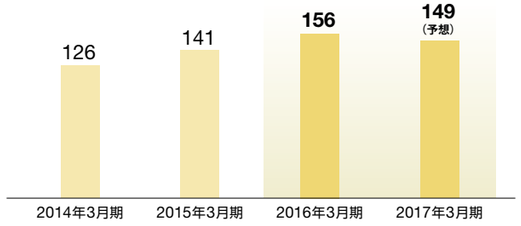
営業利益（億円）



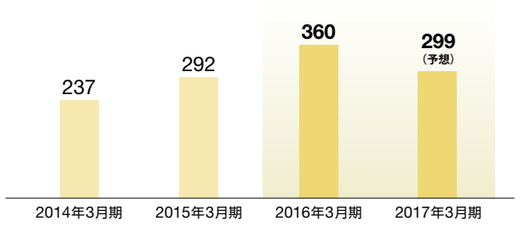
1株当たり当期純利益（円）



経常利益（億円）



純資産（億円）



2016年3月期の業績

当期におけるわが国経済は、政府による経済政策の効果等により、企業収益や雇用・所得環境が改善傾向にあり、緩やかな回復基調にありました。一方、足元では円高・株安等の金融市場の変動や、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ（当社および連結子会社）の主な事業分野である携帯電話等販売市場は、アクセサリー等のスマートフォン関連商材の販売好調に加え、タブレットの需要が拡大する等、堅調に推移いたしました。また、当業界において、総務省主導による携帯電話の料金やサービス等の適正な販売に向けた議論が展開されました。

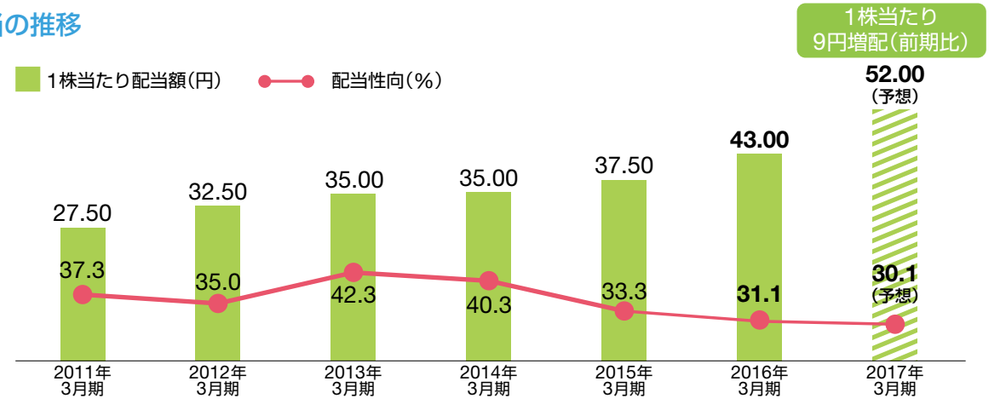
このような事業環境下、当社グループは収益源の多様化を図るとともに、生産性の向上に取り組みました。また、携帯電話等販売台数は469万台となり、スマートフォンの販売比率は7割台後半まで上昇いたしました。また、全社的な業務効率化等の構造改革を継続した結果、当連結会計年度における業績につきましては、売上高 6,200億74百万円（前期比3.4％減）、営業利益156億66百万円（同9.5％増）、経常利益156億21百万円（同10.0％増）、親会社株主に帰属する当期純利益94億98百万円（同22.6％増）といずれも過去最高益となりました。

2017年3月期の見通し

当社はタブレットやスマートフォン関連商材、各種ソリューションサービスの提案を強化し、お客様のスマートライフ充実と収益性向上に努めるとともに、重要性が更に高まる店舗や人財、自社サービス等への戦略的な投資を推進いたします。

また、海外を含めた決済サービス事業における積極的な取り組み等を勘案し、2017年3月期の業績見通しにつきましては、売上高6,160億円（前期比0.7％減）、営業利益150億円（同4.3％減）、経常利益149億50百万円（同4.3％減）、親会社株主に帰属する当期純利益97億円（同2.1％増）を予想しております。

配当の推移



※上記の数値につきましては、過去に実施いたしました株式分割を勘案した数値を掲載しております。